



The treatment of Epidemics in Homeopathy

ホメオパシーにおける流行病の治療

Organon §73

As regards acute diseases, they are either of such a kind as **attack human beings individually**, the **exciting cause** being **injurious influences to which they were particularly exposed**.

Excesses in food, or an insufficient supply of it, severe physical impression, chills, over heatings, dissipation, strains, etc., or physical irritations, mental emotions, and the like, **are exciting causes of such acute febrile affections**; *in reality, however, they are generally only a transient explosion of latent psora*, which spontaneously returns to its dormant state if the acute diseases were not of too violent a character and were soon quelled.

Or they are of such a kind as **attack several persons at the same time, here and there (sporadically)**, by means of meteoric or telluric influences and injurious agents, the susceptibility for being morbidly affected by which is possessed by only a few persons at one time...

Organon §73

個々の人間を襲う急性の熱病は、有害な要因に著しくさらされることが**誘因**となって生じる。例えば、

過度の享樂や節制のしすぎ、肉体への強い影響（身体的外傷）、体が冷えすぎる
こと、体を熱くしすぎることに、疲労、重いものをもちあげることによる身体の酷使な
ど、あるいは、心理的な刺激、感情的動揺などが、**急性の発熱を起こすきっかけ**
となる。しかし、そうした個的に起こる急性の熱病は、**潜伏していたプソラが一時的に表面化した**ものにすぎず、その熱病がそれほど激しくなく、すぐに除去されれば、プソラはおのずから休眠状態に戻る。

散発性の急性病は**同時に複数の人間を襲うもので**、大気または土壌の影響や有害因子によって**あちこちで散発的に**おこる。そうした影響や有害因子によって同時に病気になる感受性をもっている人間はそれほど多くない…

Organon §73

...Allied to these are those diseases in which **many persons are attacked with very similar sufferings from the same cause (epidemically)**; these diseases generally become infectious (contagious) *when they prevail among thickly congregated masses of human beings.*

Thence arise **fevers¹**, *in each instance of a peculiar nature*, and, because the cases of disease have an identical origin, **they set up in all those they affect an identical morbid process**, which when left to itself terminates in a moderate period of time in death or recovery.

The calamities of **war, inundations and famine** are not infrequently **their exciting causes and producers** -

sometimes they are peculiar acute miasms which recur in the same manner (hence known by some traditional name), which either attack persons but once in a lifetime, as the smallpox, measles, whooping-cough, the ancient, smooth, bright red scarlet fever² of Sydenham, the mumps, etc., or such as recur frequently in pretty much the same manner, the plague of the Levant, the yellow fever of the sea-coast, the Asiatic cholera, etc

Organon §73

…これと非常に似ているのが、**同じ原因によって生じ、きわめて似た症状を持ち、多くの人々を襲う急性病(流行性)**である。こうした病気は、密集した群衆に蔓延したときに伝染しがちで、

その後、**熱病**が発生する(注1)。個々の流行病には特有の性質の熱がある。流行病の場合、その発生源が同じなので、**罹患した人々の病状も同じように進行する**。しかし放置された場合、病気は死に至るか適当な時期に回復するかのいずれかによって終わる。

戦禍、洪水、飢饉が、流行病の**起こるきっかけや発生の原因**となることも珍しくない —

流行性の急性病の中には、同じしかたで繰り返し現われる特定の急性マヤズムがある(それゆえその病名は現代にまで伝わっている)。それには、一生に一度だけ罹るものと、非常に似たしかたで頻繁に繰り返すものがある。例えば、前者には、天然痘、麻疹、百日咳、おたふくかぜ、そして、かつて流行った滑らかで鮮紅色のシデナム猩紅熱(注2)、などがある。後者には、レバント病、沿岸の黄熱病、アジアコレラ、などがある。

Recapping 前回の要約

So, these are the **characteristics** of the Epidemic Diseases:

1. they are **Acute Disease....and Collective**
2. One **Exciting cause** produces various but **similar sufferings**
3. they become contagious among “**thickly congregated**” masses of human beings
4. they are characterized by **Fever**

従って、これらが流行病の特徴である:

1. **急性病**である・・・**そして集団的**である。
2. 一つの**誘発要因**が様々な症状を引き起こすが、それらは**似た症状**である。
3. 「**密集した**」**群衆**の中で伝染する
4. **熱**に特徴がある

Recapping 前回の要約

Hence, Epidemics are:

1. **Acute Collective Diseases**
2. characterized by **Fever**
3. One **Exciting cause** (producing **similar sufferings**)

それゆえ、流行病は:

1. **集団的な急性病**
2. **熱**に特徴がある
3. 一つの**誘発要因**(**似た症状**を引き起こす)

Recapping 前回の要約

But since we already know that

1. **Acute (sporadic) disease** are the **expression of the chronic underneath**
2. their **Exciting cause** represents the **susceptibility**
3. **Susceptibility** represents the **similitude** with the chronic underneath

...what kind of dynamic could we imagine for the ACUTE COLLECTIVE DISEASES (epidemics)?

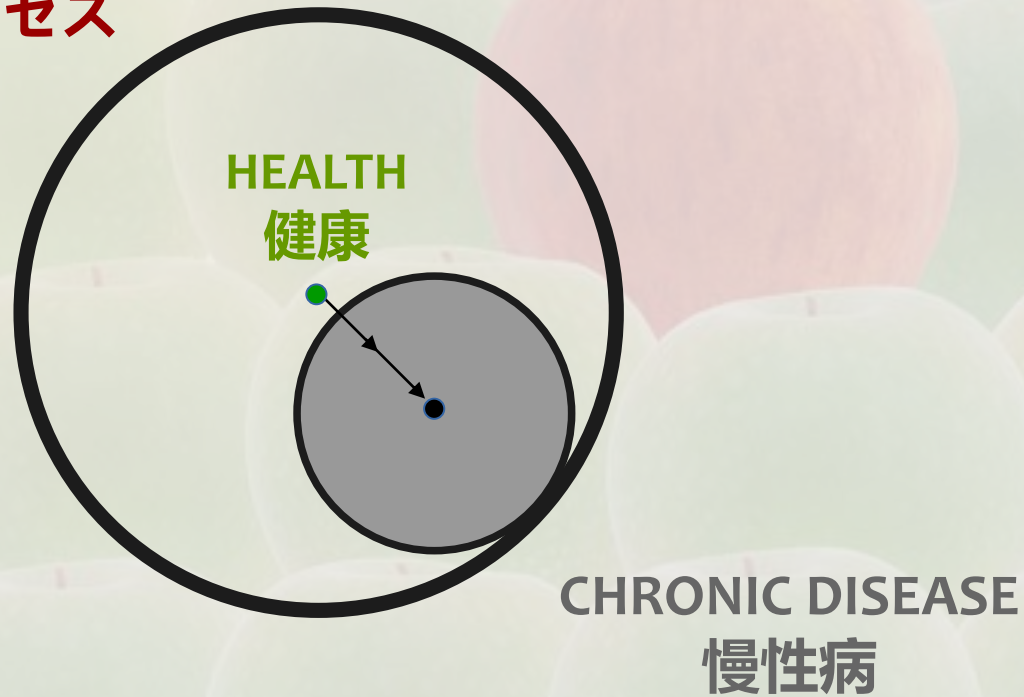
しかし、我々はすでに次のことを知っている

1. **急性の(散発性の)病**はその下にある慢性病の表現である
2. これらの**誘発要因**は罹病性を象徴している
3. **感受性**はその下にある慢性病との類似性を象徴している

...集合的な急性病(流行病)に対してどんな種類のダイナミックな動きを想像できるだろう？

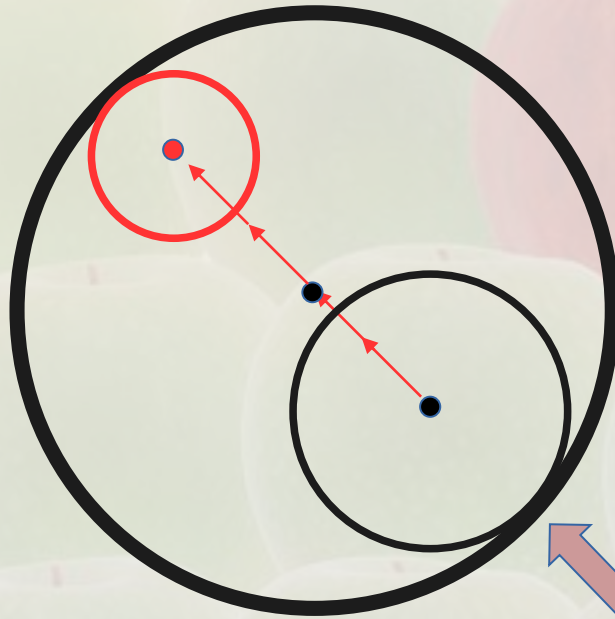
Recapping 前回の要約

The PROCESS of CHRONIC DISEASE 慢性病のプロセス



Recapping 前回の要約

ACUTE DISEASE
急性病



EXCITING CAUSE
誘発要因

Recapping 前回の要約

Exciting causes for the Epidemics:

1. become contagious among

“thickly congregated masses of human beings”

2. war and famine are the more frequent causes

流行病の誘発要因:

1. ***「密集した群衆」***の中で伝染する

2. ***戦禍や飢饉がより頻繁に誘発要因となる***

Recapping 前回の要約

War and famine and congregations

- are the expression of the **fight for survival between rich and poor people**
- the expression of the **division between the too much and the too little**
- the division between **“us” and “them”**

In the past, epidemics were less present because people used to move around and in small groups, there was no overpopulation.

戦争と飢饉と人の集まり

- は**金持ちと貧困にある人々の間の生存争い**を表現している
- **多すぎることと少なすぎることの間の分断**を表現している
- **「私たち」と「彼ら」**の間の分断

過去には、流行病は今よりも少なかった。なぜなら、人々は移動していたし、小さなグループで生活し、人口過密がなかったからである。

Recapping 前回の要約

Now we are still moving a lot, but constantly looking for new places, water, food, richness...

In **continuous MIGRATION**,
in continuous **FIGHT**,
in search of **BORDERS to DEFEND or to CROSS.**

現在、私たちはまだたくさん移動しているが、常に新しい場所、水、食べ物、豊かさを求めている...

移住し続けながら、
戦い続けながら、
防御したり越えていく境界を求めて。

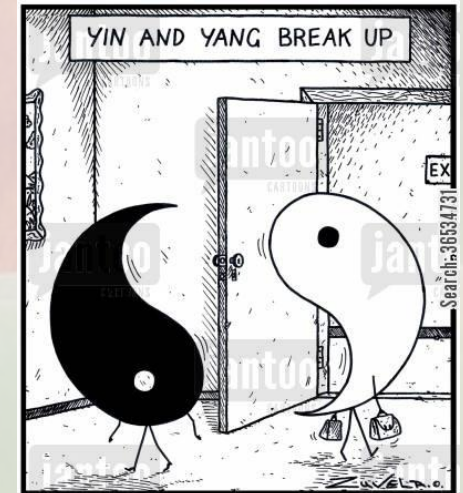
Recapping 前回の要約



Recapping 前回の要約

And **borders** represent the separation, the **division**
the defence of **private property**
The search for **Identity**
Identity in the origin, in culture, in religion

そして、**境界**は分離、**分断**を表現している。
私財の防御
アイデンティティーの探求
自分のルーツ、文化、宗教におけるアイデンティティー



Recapping 前回の要約

Until human being were nomads, private property was not there
After the development of **agriculture and breeding** we discovered **comfort and convenience**. The convenience of living together **compensating our weaknesses**
Not developing synergies

And we started to perceive **property** and the need to **defend borders**
And the border of our body is represented by the **skin**
When we started to wear the **wool** of our breeding then we started to produce the **itch**.

人間が遊牧民であったときまでは、私財は存在しなかった。
農業と飼育の発達後に、**快適さと便利さ**を発見した。ともに暮らす便利さは**我々の弱さを補償する**だけで、共同作業を発達させはしなかった。
そして我々は財産を認識し始め、**境界**を防御する必要が生まれた。
そして我々の体の境界を表現しているものは**皮膚**である。
我々が飼育した羊毛を身に着け始めたときに、**痒み**を生み出し始めたのだ。

Recapping 前回の要約



Recapping 前回の要約

Division
Borders
Convenience
Comfort
Compensation
Itch

分断
境界
便利さ
快適さ
補償
痒み

The **division** and **compensation** of
PSORA

プソラの**分断**と**補償**

Organon §100

In investigating **the totality of the symptoms of epidemic** and sporadic diseases it is quite immaterial whether or not something similar has ever appeared in the world before under the same or any other name.

The novelty or peculiarity of a disease of that kind makes no difference either in the mode of **examining** or of **treating** it, as ***the physician must any way regard to pure picture of every prevailing disease as if it were something new and unknown, and investigate it thoroughly for itself***, if he desire to practice medicine in a real and radical manner, never substituting conjecture for actual observation, ***never taking for granted that the case of disease before him is already wholly or partially known***, but ***always carefully examining it in all its phases***; and this mode of procedure is all the more requisite in such cases, as a careful examination will show that ***every prevailing disease is in many respects a phenomenon of a unique character, differing vastly from all previous epidemics***, to which certain names have been falsely applied - *with the exception of those epidemics resulting from a contagious principle that always remains the same, such as smallpox, measles, etc.*

Organon §100

流行病や散発性の病気における症状の総体を調べあげるとき、あれこれの病名に照らしてすでに以前に生じたものと何か似たところがあるかということは、まったく重要ではない。

このような流行病に新奇なところが目についたとしても、診察にも治療にも違いはでてこないからである。**医師は**、徹底して治療する本物の治療師であろうとするなら、**その時点で現れて蔓延しているどんな病気であっても、病気の純粋な症状像を新しい未知のものとして仮定し、徹底的にそれだけを調べあげなければならない。**こういう治療師は、観察したことを憶測したことと置き換ええない。治療するために運ばれてきた患者を、**すべての発現した症状**に基づいて注意深く問診しないうちは、患者について全体はもちろん一部でさえも知っているとはみなしてはならない。このことは、流行病においてはなおさらいえることである。というのも、猛威を振るう流行病はどれも、多くの点でその現れ方が独特であり、厳密に診察すると、何らかの病名を誤ってつけられた以前のあらゆる流行病とは非常に違っているとみなされるからである。—ただし流行病のなかで、天然痘や麻疹などのようにいつもずっと症状が同じ伝染病は例外である。

Organon §100

So:

1. Take into consideration the **TOTALITY of symptoms of the Epidemics**
2. Investigate it as a **NEW and UNKNOWN DISEASE (without prejudice)**
H talks about prejudice in §6, 83, 100 talking about individualization. Here individualizing every epidemics
3. Carefully examine it in **ALL ITS PHASES**

なので：

1. **流行病の症状の全体像**を考慮する
2. **新しい未知の病気**として **(偏見なく)** 探求する
彼は6, 83, 100章で偏見について述べており、個別化についても記述している。ここではあらゆる流行病を個別化している
3. **全ての段階で**注意深く問診する

Organon §101

流行病の場合、医師が最初に遭遇する症例で完全な症状像を知覚することはおそくないだろう。流行病のように集団的に発生する症状は、いくつかの症例をより厳密に観察することによって初めて、症状の総体が明らかにされるからである。それでも、慎重に調べ上げる医師であれば、最初の、もしくは二人目の患者で真の病的状態を突き止め、特徴的な症状像に気づくことが多い。そして、ホメオパシーの治療に症状に合致する適切なレメディーを見つけることができるのである。

Organon §102

このようにいくつかの症例に見られる症状を書きとめていくと、描き出された病気の症状像はますます完全なものになっていく。膨大になるのでも冗長になるのでもなく、むしろいっそう特色ある(特徴的な)ものとなり、集団として発生するこうした病気の特徴がより多く含まれるようになる。一方では、全身的な徴候(例えば食欲不振、不眠症など)が特有な症状としてより厳密に規定され、もう一方では、より多くの特徴を示す固有な症状が現れる。これらの症状は少なくとも結びつき方の点で珍しく、わずかな病気にしか見られないもので、この流行病の特徴を形成する(注)。

確かに、ある時期に流行している病気に罹った患者は、まったく同一の発生源からその病気が生じているために、すべて同じ病気である。しかし、そのような流行病の及ぶ範囲全体とその症状の総体(こうしたことを知ることによって病気の完全な症状像を概観することができ、その結果、症状の総体に対して最も適したホメオパシー薬を選ぶことができる)は、一人の患者を見ただけではわからず、さまざまな体質を持つ何人もの患者の病気を見て総合し、そこから純粋な抽出をおこなうことによって、ようやく正確な像を得ることができる。

Organon §103

すでに示したマヤズムの慢性病の数々についても、上に述べた概して急性的な様相を呈する流行病と同じく、どんな場合も同一の本質が保たれている。したがって、マヤズムの慢性病に関しても、特にプソラの場合は、その症状の全領域をこれまでよりはるかに厳密に調べる必要がある。なぜなら一人目の患者に見られる症状は、その病気を構成する症状の全領域からみれば一部にすぎず、二人目、三人目と続く患者に見られる症状も(一つの病気が分割されたかのように)、また別のいくつかの部分にすぎないからである。ゆえに、マヤズムの慢性病、とくにプソラの症状の全容を正確に知るには、そうした病気から個々に異なる症状を示す非常に多くの患者を診ていくしかない。また、それらの症状を徹底的に調べて総体的な症状像を把握することなしには、この病気全体をホメオパシー的に完治させる薬(すなわち抗プソラ薬)を見つけ出すことはできない。これらの薬は、同時に、こうした慢性病に悩むさまざまな患者にとって真の治療薬でもある。

How to go on? さてどうする？

In order to deal with Epidemic Diseases,
as we do with the single Sporadic Acute Diseases,
we have to keep in mind and to consider all the 4 elements:

Earth, Water, Air and Fire

流行病を扱うためには、
散発性の急性病のひとつを扱うように、
私たちは四大元素の全てを心に留め、考慮しなければならない：

土、水、空気、そして火

EARTH (§101)

Earth: it's the most **concrete**, and **solid** part.

It's **statistics**: you can try to find **The Remedy** that emerges from all the single cases of the epidemics and say that it's the remedy that covers the identity of the disease: **the genus epidemicus**.

But it's not enough...

The bigger is the **space and time** of the epidemics

The wider will be the **number of the remedies** that will form the genus.

There are still some **individual shades to consider...**

土: 最も有形の、そして固い部分。

統計である: 一つ一つの流行病のケース全てから浮かび上がり、その病気のレメディを探せる。そして、そのレメディはその病のアイデンティティをカバーしている: **Genus epidemicus**。

しかし、それは十分ではない...

より大きいものは、流行病の **空間と時間** である。

より広いものは、Genusを形成する**レメディの数**になるだろう。

そこにはまだ、**考慮すべき個別的ないくつもの影**がある...

WATER (§102)

Water: it's the more **fluid part**, the **connection**.

Represents the ability to recognize the **common denominator** between all the patients of the epidemics.

You are able to see all the common symptoms of the epidemics
“as if one person” (AIOP)

水: より液体の部分、繋がり。

その流行病の全ての患者の間の**共通点**を認識する能力を象徴する。
流行病の共通する症状の全てを、

「まるで一人の人のように(AIOP)」見ることができる。

AIR

Air: you start to collect all the **subtle informations**:

You collect all the **story** of the epidemics, **cultural informations**, **poetry**, **geography**, **politics** and all that happens around the epidemics, in **space** and **time**.

**But we must be careful because too much air can produce...
flatulence and offensive smell!**

空気: 全ての微細な情報を集め始める。

流行病の全ての **物語**を集める、**文化的情報**、**詩**、**地理**、**政治**、
そして流行病の周りで起こる全てのこと、**空間と時間**。

しかし、注意しなければならない、多すぎる空気は……
鼓腸と悪臭をもたらさうから！！

FIRE

Fire: we start to understand the **transformation of the epidemics**

*The expression of the epidemic disease is always **new**, we don't have to think that it has only one stage and that it will be always the same, we can't keep still but we have to move with it, we must be dynamic, we must follow its **dynamic** in the various **stages** and in the different **persons**.*

**That's why we have to keep
all the 4 elements in mind in the same time,
we have to follow all these 4 different approaches together.**

火: 私たちは**流行病の変容**を理解し始める。

流行病の表現は常に**新しい**。それは一つの段階しか持たず、常に同じであるだろうと考える必要はない。私達はじっとし続ける事はできない、流行病と共に動かなければならない。私たちはダイナミックに動かなければならない。様々な**段階**や異なった人々の病気の**ダイナミックさ**を追いかけていかなければならない。

**だから私たちは四大元素の全てを同時に心に留めておく必要があり、
これら4つの異なったアプローチを同時に追いかけていかなければならない。**